

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 22日
研究・研修課題名	日本臨床腫瘍学会学術集会への参加ならびにがん指導・専門薬剤師の更新単位取得
研究・研修組織名(所属)	薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	陶山 登之
研究・研修実施者名(所属)	玉木 宏樹、陶山 登之

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(該当無し)
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

日本臨床腫瘍学会学術集会では、医師のみならず協働する薬剤師などの医療従事者が、様々な抗がん薬やがん化学療法レジメンの最新の知識を修得することができ、また、有資格者(がん指導薬剤師あるいはがん専門薬剤師)は参加することにより更新単位を取得することができる。

現在、申請者(陶山)は日本医療薬学会のがん専門薬剤師、玉木は日本医療薬学会のがん指導薬剤師、がん専門薬剤師の資格を有しており、外来化学療法室において患者指導や副作用モニタリング、投与量確認や抗がん薬ミキシングを行うことで「がん患者指導管理料ハ」を算定している。また、がん領域の学会発表や論文投稿等後進の育成にも努めている。医療安全においては、抗がん薬曝露防止対策マニュアル作成WGメンバーとしてマニュアル策定に携わり、職業性曝露の予防に継続して取り組んでいる。

当院は「がん専門薬剤師研修施設」であり、がん専門薬剤師の資格取得を目的とした研修生を受け入れているが、研修施設の更新においては、がん指導薬剤師の常勤が要件の一つとして定められている。

これらの資格の更新には、単年ならびに複数年における規定単位の取得が義務付けられている。単位の取得ならびに最新の知識を修得することを目的として、日本臨床腫瘍学会学術集会へ参加する。

② 方法

令和2(2020)年度の日本臨床腫瘍学会学術集会は下記の日程で開催される。

令和3(2021)年2月18日～21日(京都)

日本臨床腫瘍学会学術集会に参加し、参加後、部内にて研修内容を報告することにより、他の薬剤師へ知識を伝達する。

③ 成果

第18回日本臨床腫瘍学会学術集会の開催様式は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮されライブ配信等へ変更となり、その学術集会への参加を計画していたが業務の都合上参加できなかった。